

# 墓場に訪れた神の国

2013/4/21

シリーズ～神の国～

# ルカによる福音書8章26～39節

一行は、ガリラヤの向こう岸にあるゲラサ人の地方に着いた。イエスが陸に上がられると、この町の者で、悪霊に取りつかれている男がやって来た。この男は長い間、衣服を身に着けず、家に住まないで墓場を住まいとしていた。

イエスを見ると、わめきながらひれ伏し、大声で言った。「いと高き神の子イエス、かまわないでくれ。頼むから苦しめないでほしい。」イエスが、汚れた霊に男から出るように命じられたからである。この人は何回も汚れた霊に取りつかれたので、鎖でつながれ、足枷をはめられて監視されていたが、それを引きちぎっては、悪霊によって荒れ野へと駆り立てられていた。



イエスが、「名は何というか」とお尋ねになると、「レギオン」と言った。たくさんの悪霊がこの男に入っていたからである。そして悪霊どもは、底なしの淵へ行けという命令を自分たちに出さないようにと、イエスに願った。ところで、その辺りの山で、たくさんの豚の群れがえさをあさっていた。悪霊どもが豚の中に入る許しを願うと、イエスはお許しになった。悪霊どもはその人から出て、豚の中に入った。すると、豚の群れは崖を下って湖になだれ込み、おぼれ死んだ。

この出来事を見た豚飼いたちは逃げ出し、町や村にこのことを知らせた。そこで、人々はその出来事を見ようとしてやって来た。彼らはイエスのところに来ると、悪霊どもを追い出してもらった人が、服を着、正気になってイエスの足もとに座っているのを見て、恐ろしくなった。成り行きを見ていた人たちは、悪霊に取りつかれていた人の救われた次第を人々に知らせた。

そこで、ゲラサ地方の人々は皆、自分たちのところから出て行ってもらいたいと、イエスに願った。彼らはすっかり恐れに取りつかれていたのである。そこで、イエスは舟に乗って帰ろうとされた。

悪霊どもを追い出してもらった人が、お供したいとしきりに願ったが、イエスはこう言ってお帰しになった。「自分の家に帰りなさい。そして、神があなたになさったことをことごとく話して聞かせなさい。」その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとく町中に言い広めた。



# 墓場に住んでいた男

- イエス様は弟子に命じて船に乗り、ガリラヤ湖を渡って「ゲラサ人の地」に来られた
  - ゲラサ人の地は湖の南岸で、異邦人が住んでいた(汚れた動物である豚を飼っていた)
- 悪霊に取りつかれていた男がやって来た
  - 「長い間、衣服を身に着けず、家に住まないで墓場を住まいとしていた」
  - 「鎖でつながれ、足枷をはめられて監視されていたが、それを引きちぎっては、悪霊によって荒れ野へと駆り立てられていた」

# 追い出された悪霊

- この男(悪霊)は、自分たちにかまわないで欲しいと懇願した
  - 「イエスを見ると、わめきながらひれ伏し、大声で言った。『いと高き神の子イエス、かまわないでくれ。頼むから苦しめないでほしい。』」
- この男には多くの悪霊が取りついていた
  - 「レギオン」とはローマの大隊(六千人ほど)の意
- 悪霊どもは「底なしの淵」へ落とされることを恐れ、豚の中に入ることを願った
  - 悪霊が豚に入ると、豚は崖を下って湖に落ちた



# 癒され、解放された男

- この男は悪霊から解放され、正気に戻った
  - 「服を着、正気になってイエスの足もとに座って」
- ゲラサ地方の人々はイエス様に出て行って欲しいと願った
  - 以前はこの男に手を焼いていたのに！
- 彼はイエス様について行きたいと願ったが、イエス様はお許しにならなかった
  - 「自分の家に帰りなさい。そして、神があなたになさったことをことごとく話して聞かせなさい。」

# 墓場に訪れた神の国

- イエス様は彼を解放するためにわざわざ異邦人の地を訪れた
  - 弟子たちにはユダヤ人の所へ行け,と言われたのに!
- イエス様に出会っただけで,悪霊の方から出て行った
  - 悪霊はイエス・キリストのことを最も恐れている
- この男はイエス様との出会いによって,神を知ることができた
  - 異邦人の地の墓場にも「神の国」は訪れる!



# 私たちにレギオンはいないか？

- 私たちは自分の願ったとおり生きているか？
  - パウロでさえ悩んでいた
  - 「わたしは、自分のしていることが分かりません。自分が望むことは実行せず、かえって憎んでいることをするからです。」〈ローマ7:15〉
- 自分の力ではどうしようもないのでは？
  - 「わたしはなんと惨めな人間なんでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるでしょうか。」〈7:24〉

# 解放・回復・自由

- キリストは私たちを支配している「罪」から解放するために、私たちの所に来て下さった
  - 「主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に**解放**を、目の見えない人に視力の**回復**を告げ、  
圧迫されている人を**自由**にし、主の恵みの年を告げるためである。」〈ルカ4:18~19〉
- キリストは私たちを自由にするために不自由になり、私たちの代わりに罰せられた
  - 「罪を取り除くために御子を罪深い肉と同じ姿でこの世に送り、その肉において罪を罪として処断されたのです。」〈ローマ8:3〉



# ゲラサ地方に行こう!

- 与えられた自由を正しく用いよう
  - 「兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」<ガラテヤ5:13>
- イエス様の弟子として、あなたにしか行けない場所、あなたしか会えない人がいる
  - 「その夜、パウロは幻を見た。その中で一人のマケドニア人が立って、『マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください』と言ってパウロに願った。」<使徒16:9>